

こうふ町 議会だより

町勢
世帯数/1,153世帯
人口/3,665人
(平成20年5月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ



米沢小学校



俣野小学校



明倫小学校



江尾小学校

春それぞれの入学式

持続可能なまちづくりを	2 P
予算の審議	6 P
一般質問 町政を問う	12 P
臨時会	18 P
私もひと言	20 P

持続可能なまちづくりを

20年度予算可決

一般会計

29億3100万円

平成20年3月定例議会は3月7日から21日までの15日の日程で開催された。

本年度の一般会計及び特別会計予算、条例の制定、改正等、55議案が上程され、慎重、審議の結果、原案通り可決された。

一般質問は5名の議員が質問し、江府町の財政問題等活発な論議が交わされた。

平成20年度予算は、昨年以上に厳しい財政状況を踏まえ、行財政運営の効率化、適正化を図り将来の財政健全化と活性化を目指しています。

又、公共料金の見直しも実施される状況の中さらなる行財政改革による経費節減などの対策を講じることが必要であり、議会においても対策の一環として議員報酬を更に削減し、小さくても元気で明るい輝きのある町づくりに向けて予算編成された。

平成20年度 一般会計総額29億3100万円
(前年対比100・72パーセント)
特別会計は17億588万円(前年対比91・13パーセント)
町民一人当たり125万6千円
一世帯当たり411万の予算です。

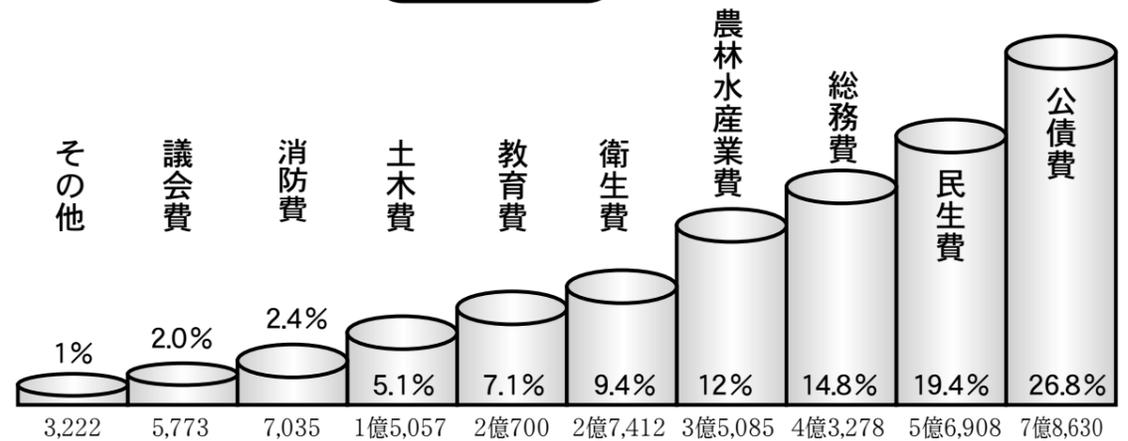
主な歳入は

◎町税	8億5844万円	(96・47%)
◎固定資産税	7億4291万円	(96・62%)
(うち中国電力分)	6億1034万円	(95・12%)
◎地方交付税	12億5000万円	(106・84%)

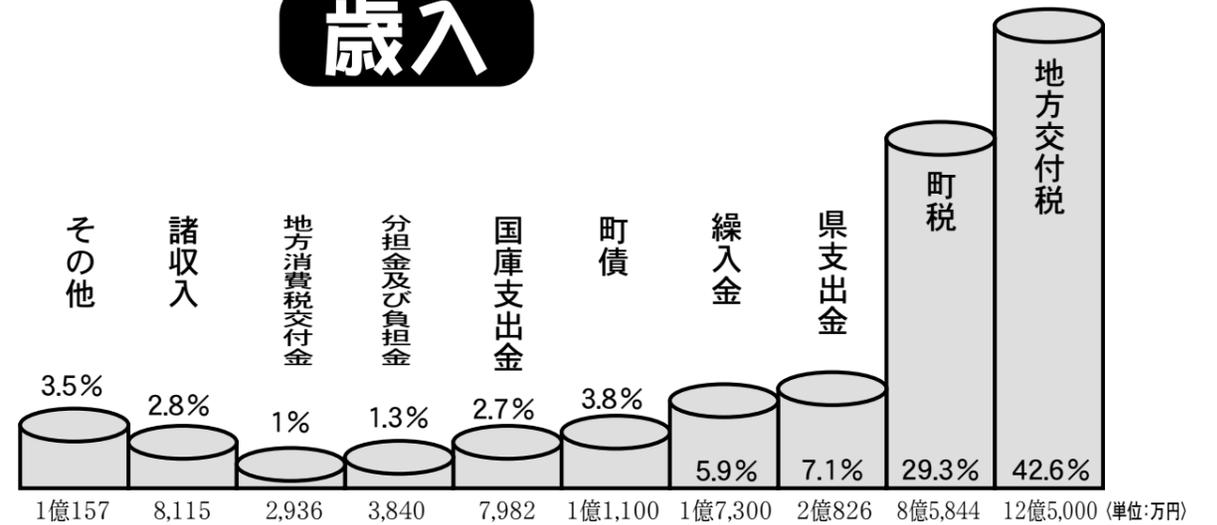
主な歳出は

◎総務費	4億3278万円
過疎バス対策費	4800万円
選挙費	1374万円
◎民生費	5億6908万円
老人福祉費	1億5276万円
◎衛生費	2億7412万円
塵芥処理費	1億5709万円
◎農林水産業費	3億5085万円
農業振興費	9927万円
◎土木費	1億5058万円
道路維持費	7285万円
(除雪委託料)	(1900万円)
◎教育費	2億7000万円
児童福祉費	1億2807万円
◎公債費	7億863万円

歳出



歳入



特別会計（16会計）

総額 17億588万円

前年（21億7,810万円）

国民健康保険（事業勘定）

高額医療費

19市町村中17番目

予算総額

3億5976万6千円

1234万6千円増額

厚生労働省基準の地域差指数は平成15年度まで鳥取県の指定でしたが、平成16年度から3年間国の指定となり補助金削減のペナルティが18年度にありました。17年度の医療費が下がり県指定数値一〇を下回り〇・八八二となり県下19市町村中17番目となりました。

この国の指定及び県の準指定からはずれたことはじめてです。今後とも本町の保健、医療、福祉の密接な連携と医科、歯科の先生の献身的な努力のたまものと感謝し更なる町民の安全、安心を守る医療機関として御尽力いただきたいと思えます。



あたらしく始まる健診説明会の様子

特別会計

(単位 千円)

会計区分	20年度予算	一般会計からの繰入額
住宅新築資金貸付事業	3,192	
国民健康保険 (事業勘定)	359,706	18,494
国民健康保険 (施設勘定)	305,788	41,753
老人保健	107,186	8,653
介護保険事業 (保険事業勘定)	422,598	65,375
介護保険事業 (サービス勘定)	2,418	
介護老人保健施設	35,213	
後期高齢者医療	75,169	24,757
笠原市民農園	4,184	4,164
簡易水道事業	94,203	44,125
農業集落排水事業	217,002	80,683
特定環境保全公共下水道事業	63,970	31,558
林業集落排水事業	5,487	4,648
江尾財産区	3,820	
神奈川地区財産区	1,450	
米沢財産区	4,500	
合計	1,705,886	324,210



完成した宮市処理場

下水道水洗化率及び下水道関係接続率

H19. 4. 1現在

世帯数	人口率	水洗化率		使用開始率 (接続)	
		接続世帯	人口率	水洗化率世帯	人口率
90.2%	89.9%	71.6%	77.0%	69.7%	75.3%

世帯数	1,166世帯
人口	3,743人

- 宮市地区は20年度から供用開始
- 美用地区は20年度より事業化23年度完了を目前

一般会計

会期中3月12日・13日に予算特別委員会を開催し、審議したなかで主なものをあげています。

人件費は

人件費の削減は。

Q 昨年に引き続き町長20%、副町長、教育長12%、議員12%、一般職員7%をカットし、約4700万円の削減となります。

固定資産税は

Q 固定資産税が、約2560万円減少しているが、今後の見通しは。

A 減少の多くは、保野川中国電力発電所の減価償却によるものです。現在、新しく設備投資の予定はなく、定率による減少が続きます。

ふるさと納税は

Q 新しい制度としてふるさと納税制度が始まるが、江府町の取り組み状況はどうか。

A この制度は自分の税金の一部を故郷など指定した地域に納めるものです。個人だけでなく企業等の研究も行い6月議会には提案したい。現在のところ、江府町の自然環境を守る基金の創設等、目的を持ったものにしたとと考えています。

サントリーの効果は

Q いよいよ操業が始まるサントリーは全国にテレビCMを発信し、広く奥大山の自然が知られています。今後、サントリーに協力を願うスポーツや文化など江府町を活性化させる具体策は。

A 平成20年江府町を全国に発信する重要な年と捉えています。議会からも色々なアイデアを頂いたので、具体的にサントリーと交渉していきたい。



サントリー天然水(株)「奥大山ブナの森工場」

企業誘致の指針は

Q 水工場グリーンステージ、サントリー水工場と企業誘致に成功したが、今後、企業誘致を行うために町の基本的指針が必要では。

A 誘致企業に対し江府町の指針を示す事は、企業にとっても進出する上で重要と考えており、今後企業誘致を進めるために取り組んでいきたい。

旧教育委員会の建物は

Q 使わなくなった旧教育委員会の建物は取り壊して駐車場にしたいが、財政状況を考えるともう少し先にせざるを得ない。日輪閣は、外壁の傷みがひど

A 旧教育委員会の建物は取り壊して駐車場にしたいが、財政状況を考えるともう少し先にせざるを得ない。日輪閣は、外壁の傷みがひど

予算の

審議

く危険なので取り合えず修理を行うが、開発センターとの関連を考慮使用方法を検討したい。

情報基盤整備は

Q CATVが江府町と日野町には入っていないが、インターネットやテレビなど情報が入り難い。又、平成23年にはテレビの地上デジタル放送が始まるがその対応は。

A 全世帯にCATVを繋ぐには最低でも6億円は掛かる試算をしています。補助が3割ぐらいと予想され難しいと考えています。インターネットは時代の要求だと考えており、ADSLを整備する方向で検討したい。地上デジタルについては来年、日野中継基地が設置されるのでその状況をみて町内のテレビ組合とも相談し検討していきたい。

町営バスは

Q 平成21年春に小学校統合することにあわせ、今年町営バス3台を購入とされているが現在の計画は。

A 昨年から役場内で検討を行い、町民アンケートなども実施し基本計画を策定したところです。その内容は、「高齢者、通学者、免許不持者の交通確保」「高齢者や通学の利用を考えたダイヤ」「小さいバス車両で運行」「鉄道との接続を良くする」を基本に中型バス3台とワゴン2台で6路線を運行するものです。町負担金は約600万円、現在より約400万円増額の見込みです。今後、運行委託業者の選定や、PTA等とのすり合わせなど行い住民に便利なバスとなるよう今年中に詳細を決定したい。なお運賃は大人200円、小学生以下100円とし通学補助は行います。

農業施策は

Q 江府町の基幹作物である米は、米価下落により農家所得の減少とやる気をなくしている。サントリーによる奥大山のブランドが発信される今、他町に負けない美味しい米のブランド化を実現すべきでは。

A 今、江府町奥大山は全国に知られています。元々当町の米は美味しいと言われており奥大山のブランドで付加価値を付ける取り組みをぜひ実現したいと考えています。

Q 転作による遊休農地を生かし農家所得を上げるために色々な野菜の栽培に取り組むための施策が必要では。

A 県、町のチャレンジプランによりキヤベツ、ねぎ、トマト、イタリアン野菜など行っているが、米も含めた江府町の農業将来ビジョンを作る必要があると考えています。

除雪車の購入は

Q 約3600万円でロータリー式除雪車の購入が予定されているが、古い除雪車は利用できないか。

A 今ある除雪車は平成7年に購入し古くなっており修理費がかさんで来ています。除雪車購入には、補助もあり実際の町負担は約240万円となり購入を予定したい。

中学校の30人学級は

Q 30人学級の実施により、生徒の教育環境を守る必要があるか。

A 30人学級制は必要とされており補助金と町費を負担し実施します。又、外国人講師による英語の授業も引き続き行い小学校にもより多く出かける予定です。

教育委員会の体制は

Q 今年4月より役場の機構改革により、保育園が教育委員会の主管になるが、教育委員会の体制と事務所の対応は。

A 指導主事と保育園とで2名増員予定です。事務所のスペースに限りがあり工夫して対応したい。

小学校の体育館は

Q 江尾小学校の体育館は今年耐震調査が行われるが、見直しはどうか。

A 統合を控え、耐震もし強度に問題があれば耐震補修をするか、立て替えをしなければなりません。今後、プールや駐車場等残された課題があり財政を睨みながら計画的に取り組んでいきたい。

特別会計

公共料金は

Q 上下水道料金の見直しについて、町民への説明はしっかりとなされたか。

A 公共料金見直し委員会にて審議され答を受け、平成20年4月1日からの改定に向けて上

下水道の料金見直しの説明会を2月に各小学校区に開催しました。
ご理解をお願いし、更に町財政再建に努力します。

未収金の徴収は

Q 住宅新築資金貸付資金の徴収はどうなっていますか。

A 新規貸し付けはありませんが、未収金を返済して頂くため、努力しております。

と長期的に医師の派遣について交渉しています。

介護予防の取り組みは

Q 介護を受けない様健康維持と予防について取り組みはどうなっていますか。

A 平成19年度は厚生労働省の高額医療の指定が地域差指数1・14を下回り、県下で17番目となり指定がはずれました。予防に対して取り組みの成果が出てきました。今年度は燕下^{えんげ}評価事業の中で飲み込み指導を歯科口腔外科で行います。介護を受ける可能性の早期発見し対策を講じるため、地域包括支援センターと関係機関の協力が必要になってきます。

笠原市民農園は

Q 2年間休止していた笠原市民農園の運営は。

A 2力年休止の笠原市民農園は今年度から、指定管理者を募集して、江尾貨物自動車の代表白石和男氏と地元の方を中心に運営を行います。皆さんのご利用をお願いいたします。

公共下水道の水洗化は

Q 農業・林業集落排水事業の水水洗化は、整備が進むにつれて90%を超える接続率ですが、江尾地区などの公共下水道の接続は進んでいきますか。

A 下水道への接続は8割程度まで進んでいます。家と家の間が狭く、難航しています。ご理解を頂いて公共下水道への接続をお願いします。水洗化を進めていきます。

農業集落排水事業の進捗は

Q 現在宮市に終末処理場が完成していますが、今後の進捗状況は。

A 平成19年度で宮市の終末処理施設が完成し、平成20年4月1日から供用開始をいたします。事業は宮市原に向けて工事を進めて行き、宮市地区の完成に努めます。美用地区についても事業化に向けて進めていきます。

合併処理浄化槽整備事業は

Q 合併処理浄化槽整備事業の進捗状況は。

A まだ水洗化率は世帯数の4割弱ですが、年間2〜3件の整備を進めていきます。

江府町の医療体制は

Q 地域医療で医師不足が言われていますが、体制は大丈夫か。

A 過疎地における医師不足は深刻です。特に歯科口腔外科は、現在患者数に対し不足している状況です。現在鳥取大学医学部歯科口腔外科

【上水道】

上水道料金改定(税抜き)
基本料金10m³までは据え置き超過料金を改定

超過水量	現 行	改 定
1~50m ³	60円	85円
51~100m ³	90円	105円
101m ³ 以上	120円	135円

【下水道】

均等割は据え置き人数割を改定(税抜き)

区 分	現 行	改 定
一般家庭	300円	390円
事務所等	150円	200円
学校等	70円	90円
飲食店等	300円	390円
地区公民館		0円
その他	町長が別に定める	

予算特別委員会

参考意見

一般会計

平成20年度一般会計予算は、厳しい財政状況の中、持続可能なまちづくりのため一層の行財政改革を進めると共に、住民の健康対策や小学校統合に向けた町営バスなど、絞り込んだ予算となっています。

特別職・一般職の人件費削減をはじめとする将来の財政健全化と活性化を目指しての一般会計予算総額29億3100万円であり、前年とほぼ同額の予算となっています。江府町においては、米価下落による農業所得の減少や、厳しい経済情勢による住民所得の減少が懸念されるなか、水道料金、下水道料金の値上げや後期高齢者医療制度などが重なっており、行政や議会に対し厳しい眼が

向けられています。

町民と一丸となつてこの局面を乗り切るために、より一層住民に情報提供し住民の理解と協力を得ることが求められます。

又、エバーランド奥大山は、レストランド部門とスキー場部門を分け、指定管理者を再度募集することになりましたが全力を傾けこの問題に取り組んで頂きたい。

今後の江府町発展のために、サントリー進出で広く認められた江府町の自然を大切にすると共にどう生かしていくか大きな課題であり、積極的に取り組むことが求められます。



江尾小学校

総務課

①日輪閣の外壁工事が行われるが、旧教育委員会の建物も含め今後どうするか財政を睨み検討されたい。

②平成20年度の特別職（すべて手当含む）町長20%カット、副町長・教育長12%カット、一般職7%カットとなっており、厳しい財政を乗り切る努力と覚悟が伺える。

企画財政課

①江府町の大切な資源である水を使い事業を行うサントリーに対し、地元企業としての自覚を促し、色々な角度から地元に対し貢献するよう交渉に努められたい。

②小学校統合を睨み、町営バス3台を購入し、いよいよ運用が始まります。スクールバスとして、又地域の足として皆さんに喜ばれるものとなるよう期待します。

一般会計

③ 財政再建プランを作り、町民に知らせ町民の理解と協力を得るよう努められたい。

④ 情報過疎化とならないようインターネットの高速化を検討されたい。又、2011年のテレビ地上デジタル化に向けて支障が無いよう準備願いたい。

福祉保健課

① 医療費の目安である地域差指数が0・882となり県下19地区の17番目となり、予防、検診に力を入れた成果が現れてきている。今後も町民の健康増進に向け努力をお願いします。

② 時に集団発生するノロウイルスや、中国餃子事件のような危険に注意を払い、安心安全な給食の提供をお願いします。

③ 社会福祉協議会の利用と今後の方向性をしっかりと検討し、町民の福祉と健康づくりに支障が無いよう要望します。

建設課

① 今年より軟質プラスチックの分別が始まりますが、今まで行っている分別の方法とともに町民にわかりやすく伝え、広く住民に普及するよう努力されたい。

② 高規格道路整備については、実現に向けて関係者や県に働きかけされたい。

農林課

① キャベツ、ねぎ、トマト、イタリアン野菜など県、町のチャレンジプラン事業をより積極的に利用し、将来の希望が持てるよう努力願います。又、色々なアイデアで江府町の基幹作物である米のブランド化を実現されたい。

② 農業公社の作業受託を増やす努力をするなど、経営改善に努められたい。



いきいき運動教室 (佐川)



収穫におわれるキャベツ畑

教育委員会

① 小学校統合に向け順調に準備が進められていきます。今年は体育館の耐震調査が行われますがプールや通学道、駐車場など今後、総合的に年次計画を立て進められたい。

② 4月より機構改革により保育園が教育委員会の

主管となります。幼児教育の重要性が言われますが、教育委員会による幼児から中学生までの一貫した教育の流れとなりますので、将来を担う子供達の教育に大いに力を振るって頂くよう期待します。

特別会計

参考意見

平成20年度の16の特別会計17億588万円対前年4億7222万円の減額(対前年比78・3%)

予算です。公共料金の見直しを町民に説明され、条例改正され、上下水道の健全化に努められたい。基盤整備も終わり、生活関連事業が進んでいます。更に知恵を出し合って、財政健全化に努力しなければならぬ。

住宅新築資金等貸付事業特別会計

新規貸し付けは無く、すべて、償還金となるため、延滞償還金債務承認書を債務者と交わし、時効の中断を図る措置を継続的に行い、徴収に努力されたい。

国民健康保険特別会計(事業勘定)

本年度から厚生省の地域差指数が、0・882となり、国の指定ははずれ、県の準指定も外れた

事は診療所の皆さんが予防医療に対して、取り組みが効果を及ぼしたと思えます。本年度からスタートする特定検診・特定保健指導についてはスムーズな導入を望みます。

国民健康保険特別会計(施設勘定)

過疎地域の医療従事者の確保は全国的に厳しい時代ですが、特に歯科口腔外科では、急速な患者の増加による医師不足が懸念されている状況です。鳥取大学医学部歯科口腔外科との連携強化を図られたい。日野病院・介護保険施設「あやめ」等との連携を密にし、地域の健康推進に期待します。

介護保険事業特別会計(保険事業勘定)

介護予防の観点から65歳以上の高齢者の生活機能評価として身体機能の調査をし、該当者の中から介護を受ける可能性の方を早期発見し、対策を講じるために行うもので

す。高齢者が出来るだけ介護を受けない様に予防事業に積極的に取り組んで頂きたい。

介護保険事業特別会計(サービス事業勘定)

高齢者の介護の居宅介護を中心として地域と関わって生活できる訪問介護をはじめ施設介護に至るまで、地域包括支援センターの果たす役割はとて大きく、介護予防に對して大いに期待して頂きたい。

後期高齢者医療特別会計

今年度から始まる後期高齢者医療制度について、住民に説明がまだ行き届いていないのが現状です。保険料の徴収にも対象者をはじめ、後期高齢者のご家族にも納得頂けるよう説明をされたい。

笠原市民農園特別会計

2年間工事のため休止していましたが、今年から指定管理者が決まり、管理運営がされます。行政も宣伝等バックアップが必要と考えます。

簡易水道事業特別会計

料金の改定は基本料金据え置き、超過料金の値上げとなっていますが、郡内の水道料金を比較してみても試算で60〜70%に抑えて生活にあまり負担にならないよう配慮がされています。これから安心・安全な生活水の提供を頂きたい。

農業集落排水事業特別会計

19年度末で宮市地区の終末処理施設が完成予定で供用開始が待たれます。財政事情が厳しいですが、町民の快適な生活のため順次整備を進められたい。上水道と併せて料金改定の説明が行われましたが、料金は郡内で一番低い料金設定ですが、健全な事業運営を行って頂きたい。

特定環境保全公共下水道事業特別会計

使用料の改定で4人家族の場合1世帯あたり月額378円の値上げです。水洗化率76・3%ですが、接続世帯を増やされるよう希望します。



カサラファーム

一般質問



質問 昨年12月号の町報に、トップ記事として財政推計の見通しが載りま

問	プランの策定と町民説明は重要課題と考え
答	取り組む



記事の最後には、「※印で現行の人員費削減策等は反映しておりません。」と書いてあります。今まで述べた町報の記事は、今のままで行けばこうなると言う町財政の現状を良く表していると思います。ただ、これを見た町民が「よしそんなに町が大変なら、我々も協力して何とか頑張ろう」と思えるでしょうか。将来に対する不安ばかりが増大してはいませんか。その事が大変気がかりです。

竹内町長は、平成16年江府町が単独で行く事を決めた前福田町長の跡を継ぎ、町長に就任し、国の交付税の減少など厳しい財政状況の中、単独で生き残るために色々な財政改革に取り組んで来られました。

具体的には、町長以下職員、議員も人員費を削り、新たな投資を止め、全ての物件費を見直し、そして今、公共料金の値上げという直接町民に協力願うところまでできました。又、昨年3月には、エバーランドの大胆な見直しに着手し、民間委託の道を模索しています。又、サントリー奥大山ブナの森工場は4月には、操業を開始し、今後税収が期待できます。

そこで、町長に就任以来の4年間を総括し、今まで行った財政改革とそれによる町財政の変化を町民にわかりやすく伝えると共に、町民に希望と

財政改革プランは

上原 二郎

やる気を起こさせる為に、「こうすれば江府町は大丈夫だ。」という将来の道筋を示すべきではないかと考えます。

そのような観点から、今後10年ぐらいの財政改革プランと改革後の財政見通しを作るべきと考えますが、町長の考えを伺う。

質問にあつた財政推計は町民の皆さんに町財政の現状を広く知って頂きたいという思いから、3年前からお知らせしています。ただ、企業誘致による効果等は入れず、現状で安閑としていればこうなるという推計です。

江府町は以前から生活基盤、産業基盤などは、他町に率先して整備しています。今、それらに投資した借入金の返済が大きな財政負担になっています。

質問 今後の江府町財政の見通しは、更なる経費節減と財政対策が必要で厳しい状況です。そのような中、バランスシート（貸借対照表）を作成する地方自治体が増えてきました。そのことは、財政状況の動きをみることで総合的かつ長期的に把握でき、また、行政効果を高めるためにも、財政の実態把握が不可欠との声が強くなったとのこと。税金や借金でいかなる資産が形成され、現在どのような実態にあるかを示すストック情報が欠如し

問	バランスシートの検討は
答	試みに挑戦し作成する



バランスシートの基本構造 (貸借対照表)

資産の部 (流動資産) (固定資産) 等 資本金を使つて どれだけの資産 を購入し、決算 期末の時点の 高を示す。	負債の部 (流動・固定負債) 等 借金のよう なものの借入金等	立ど こ の 手 元 で と 言 う と
資産－負債＝正味財産（資本）		

ております。ストック情報を今後の財政制度や予算編成の変革にいかにつけていくかは、大きな課題であります。まず、貸借対照表の作成から会計の改革に着手し、財政情報の質的改善を図る必要を感じます。バランスシートが万全でないことは承知していますが、町長の所見を伺う。

バランスシートから出てくる指標、また見直し、そういう情報をいかに実現していくのか、自治体会計に正しく映し出されるのか、また作成の基準ルールの専門的技術の習得問題なり、公認会計士等相当の費用も必要であり検討しておりますが、

昨年6月、地方財政健全化法が制定され、それに伴い総務省から各自治体に対し新たな会計モデルによって財務書類を作成し、自治体公会計の整備を進めるよう通知がありました。これまで自治体の会計は現金主義・単式簿記で記帳しており、これは現金の出入りを一つの口座に記録していく方法で、簡単に明快ではありませんが、体系的に整理することは不向きとなつておるのが現状です。

このため新たな財務書類は発生主義・複式簿記の考え方を導入した内容となつており、自治体が多額の資産や債務を持つていては、対照表と行政運営に係るコストと収入を示す行政コスト計算書、また資金の流れを示す収支計算書と資産から負債を除いた残りが一定期間内にどういう理由でどう増減したかを示す純資産変動計算書などとなつております。ただ、現状におきましては、

財政情報の質的改善は

日野尾 優

だ不明確な点も多くありますので、今後、国や県に確認した上で平成19年度決算からでも試みに挑戦し、作成してみたいと考えております。いずれにいたしましても、町の財政状況につきまして、町民の皆様にも正しく理解していただくことは非常に重要なことであると考えております。

また、今まで公表してない書類も含めて、一杯の詳細を住民の皆さんにお知らせしたい。そして一緒に進めればと考えるようになっております。20年度予算等につきましても、4月以降に説明会を検討し、また決算が認定された場合決算状況等も町報を通じてお知らせをしておりますが、説明会というようなことも必要ではないかと考えております。積極的に町民の皆さんへのお知らせに努力したいと考えております。

一般質問



地元の野菜を豊富につかった給食（給食センター）

中でもめん類やパンの値上げは学校給食にもかなりの影響があると考えられます。給食センターで使う米の量は、1日約35キロ金額で平成20年1月

問	完全米飯給食を
答	実施に向けて努力



学校給食の見直しを

越峠恵美子

質問 現在、江府町の学校給食は、小、中学校を併せて1日360食、週5回実施されています。内訳は、米飯給食が3回パン給食が2回です。

世界の穀物需給に影響を及ぼすオーストラリアが2年続きの大干ばつで不作と報じられています。特に小麦は、前年対比6割の生産量と言われ、国内需要量の約2割がオーストラリアからの輸入である為、日本の食卓を直撃し、食生活に及ぼす影響も大きいと懸念されます。

今、米の価格が過去最安値となつている実態を踏まえ学校給食についても米飯給食の回数を増やす県もあり新年度予算案に計上されたと聞きます。地産地消が云われる様になり給食センターでは食材も可能な限り地元の野菜を豊富に使つて献立をされています。

江府町農業の基幹品目である米の消費拡大と地産地消による食育効果も十分あると考えられるので他町より早く完全米飯給食の取り組みをする良い時期ではないかと考えますが、町長の所見を伺う。



おいしいごはんが炊き上がりました（給食センター）

町長答弁 現在の学校給食は、昭和51年に米飯給食制度に位置づけられたが江府町はそれに先駆け、昭和48年から週1回の米飯給食をしその後、米飯とパンと交互になり現在は米飯が週3回実施しています。金額的にも1食当りの比較でもパンの方が5円から10円高くなつている。小麦の状況からより価格差が広がることは否めないと考えている。

野菜不足、朝食の欠食等食習慣の乱れが問題です。未来を担う子供たちをたくましく健やかに育てるため健康、教育、食文化又、地産地消に見られるように生産者の顔が見える町内産の食材を使用することで生産者に感謝し、農業に関心を持ちみづからの地域への理解を深める事も大切であると思います。

問	今後の財政状況は
答	10年計画を作成



江府町の財政は環境と食の安全は

田中 幹啓

質問 全国の市町村の94%が厳しい財政状況であるが、町長として町民に財政問題で、一番訴えたいことは何か伺う。

町長答弁

江府町は他町に比べ水道、下水、生産基盤、生活基盤、医療体制、防災対策が進んでおり、その反面公債費もたくさんありますが、ここ数年間しのげば財政状況も安定に向かうと思います。今後の10年計画をきちんとした形で町民の方にお知らせをいたします。

質問 これまでより各市町村の財政チェックが厳しくなろうとしている。平成19年6月より始まった自治体財政健全化法について本町はどの様に分析対処をしておられるか伺う。

町長答弁

20年度から法律が適用され、新基準では普通会計の実質赤字、病院、水道下水道など特別会計を含めた連携赤字比率、それに一部組合など含めた実質公債比率、農業公社第三セクターなど含む将来負担比率など4つの指標が導入されております。

問	輸入食材の点検は
答	マニュアルに基づき対応

本町でもこの率がどうなるかを認識をし19年度計算から指標を用い財政分析を行い決算報告と合わせてお知らせいたします。

町長答弁

中国からの輸入食糧が大きな問題になっていくが、食の安全について、保育園給食センターあやめ等はどの様な現状であり、どう対策指導しておられるか伺う。



給食風景（江尾小ランチルーム）

園給食センター、あやめ等については使用していません。ノロウイルスですが、発生時の対応マニュアルに基づき、きちんと対応しています。今後も給食用の食材の再点検を行い、出来れば地産地消の物を使用したと思います。

町長答弁

環境問題は自治体にとっても重要なテーマになつている。今パイオマスタウン構想を展開している町があるが江府町も研究啓発を始めてはどうか伺う。

社会経済の活動により地球の資源を大量消費、大量廃棄し、自然環境が失われています。江府町では環境対策のため、こみの分別収集を20年度からは軟質プラスチックのリサイクル等も行います。河川浄化のため、米沢地区の下水道工事も行っており、町全体では90%の達成率です。自然環境保護のため、鳥取共生の森事業や減農薬米に取り組み環境安全に努めています。

一般質問



新たな医療制度・農業 施策の取り組み 改選に向けて町長の所信 川上 富夫

問	どうなる後期高齢者医療制度
答	十分な説明で納得医療を

質問 4月1日から始まる後期高齢者制度（75歳以上の方々）に向けて、各地で説明会が行われた。平成20年1月1日現在人口3691人、後期高齢者796人高齢化率37・3%全国の20年以上進んだ高齢化の町です。後5〜6年経てば、3人に1人は75歳以上になっていきます。新しく保険料の負担が要ること、年金から天引きなど、町民に説明が不十分ではないか？

後期高齢者医療制度について伺う。

町長答弁

新制度の周知徹底を図る上で、福祉保健課と町民課でチームを組み1月から全集落を巡回し、対象者を抱えるご家族361名に説明をいたしました。が、現在も電話等相談受付を行っており、ご理解いただくよう、努力いたしております。この制度は、鳥取県下の全市町村が加入して出来た、広域連合で、後期高齢者の方の健康に対してサポートしていきます。保健・医療・福祉の関係機関の連携で十分対応いたします。

問	高齢者のやる気ができる農業政策
答	制度の活用で活性化

質問 江府町の基幹的農業従事者は65歳以上の方で成り立っています。重量野菜の大根は、耕作者の齢と共に衰退しました。1例として、先駆けモデル事業として、標高差による試験場で適地野菜の試験ほ場は、高齢者の皆さんに、やる気が出る農業施策を伺う。

町長答弁

標高差を利用しての大豆栽培は衰退し、ネギ、トマトなど多種にわたっています。新規就農セミナーの開催、江府町チャ



こんにゃくいも栽培技術視察

問	町長の所信を問う
答	再出馬表明する

質問 合併しない町で、福田町政を継ぎ江府町の厳しい財政の舵取りをされ、自然を生かした企業誘致が出来ましたが、7月の改選に当たり、次期に向けて竹内町長の所信を伺う。

町長答弁

平成16年8月就任し、持続可能な町づくりの為に財政改革を着実に進めるとともに、住民の健康対策、行政と住民との信頼関係を深めてまいりました。2つの企業誘致も実現することが出来、更に奥大山のイメージアップを図っていきます。平成21年度の小学校統合など、責任を十分感じております。

改選に当たりまして、再度立候補・出馬させて頂き次期町政を町民の皆さんのご理解を頂いて頑張る決意を新たにいたしております。

議員提出議案

江府町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

平成20年度の議員報酬を12パーセント削減することを全会一致で可決しました。削減後の報酬月額は、次のとおりです。

職名	報酬月額
議長	271,040円
副議長	201,520円
委員長	193,600円
議員	189,200円

平成20年4月1日から施行となります。

あなたから出された 陳情の結果

採択としました

▽法務局の増員に関する陳情書

東京都千代田区霞ヶ関一丁目一一一

全法務省労働組合 中央執行委員長

岩波 薫

▽介護保険料の激変緩和措置継続の陳情

鳥取市天神町三〇―五 鳥取高齢退職者団体連合

会長 日置勝彦

▽安全・安心な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の

存続を求める陳情

米子市豊古千六七八 国土交通省全建設労働組

合 日野川支部

支部長 脇谷光弘

趣旨採択としました

▽「鳥獣被害防止特措法」関連予算を鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防

除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情

兵庫県西宮市分銅町一一四

日本熊森協会

会長 森山まり子

▽「現行保育制度の堅持・学童保育・子育て支援

施策の推進に関わる国の予算の大幅増額を求める

意見書」提出の陳情書 東伯郡湯梨浜町泊七一一

鳥取の保育を考える会 会長 石井由加利

継続審査としました

▽議員報酬を日当制とすることを求める陳情書

陳情代表者

美用 下垣 忠嗣

武庫 宇田川 潔

武庫 大塚 忠行

杉谷 田本 正三

大河原 安田 利憲



あなたも 議会を傍聴して 見ませんか 詳しくは 議会事務局へ

直接請求「条例制定」否決 陳情書 不採択

臨時会

住民グループより

陳情書

議員報酬 日当制

直接請求

議員報酬 一日1万5千円
議員定数 10名を14名に増員

解散請求

選挙費用削減のため

1月29日
陳情書提出

陳情書の主な内容は、歳出削減による財政の健全化は緊急かつ重大問題で財政削減は総人件費削減が要であり、就んずく議会費の削減が財政改革の橋頭堡と考えます。議員報酬総額500万円以内を押さえることが肝要と考えます。本町も議会改革の一環として議員報酬を日当とし他の特別職の経費削減を行ない、財政健全化の第一歩とされるよう陳情をする次第です。

条例制定直接請求

2月4日から署名活動された、条例制定直接請求の内容は平成17年の改選より定数が14名から10名に削減され、住民の代弁者、行政の監視者としての機能が失われ活力が薄れたのも事実である。議会の機能回復を図るためにも議員の定数を14に増員する。厳しい財政状況で、報酬を日当制とし、日額15000円とする。議員報酬の総額を500万円以内とする。

解散請求

議会の解散請求の署名も合わせて行われ、その内容は次の通り。平成20年7月町長選挙、21年6月は議会議員選挙が行われる。町長、議会議員の選挙を同日とし財政歳出の削減に努める事が肝要であり、議会の解散により、町長選挙と同日とし費用削減を図る。

定数増条例制定

定数14に増員の直接請求は120人の署名(50分の1 63人)が集まりましたが直接請求は提出されませんでした。

解散請求

解散請求は有権者の3分の1の署名1040人が集まらず住民投票は至らなかった。

日当制条例制定

日当制15000円の条例改正は250人の署名をもって3月31日に町長提出され、町長は受理し意見書を付して4月4日から会期4日間の臨時会が開催された。



条例制定について意見を述べる竹内町長

町長意見書

要旨は平成21年度より単年度赤字が計上され、赤字の累積によっては、財政再建団体になり、住民福祉の維持が困難となる。したがって財政健全

化が急務で、特に人件費の削減が財政改革であり、議会費の改革から取り組む事が必要である。議員報酬総額3530万円を500万円に抑え、日額15000円にし支給方法費用弁償についての規

定を定めるものであります。

町報で示した平成22年度から基金がなくなり、3億3200万円の赤字の推計は行政改革を実施しない場合であります。

厳しい財政状況の要因はほ場整備、上水道・下水道事業等の生活環境整備を行い、その起債の償還が多額であり、合わせて三位一体改革による地方交付税の削減が主な要因である。

今まで取り組んだ財政改革は維持管理費、物件費等の削減、特別職の報酬並びに職員給与の削減、公共投資の抑制等行っています。江府町議会も町の財政状況を鑑み、議員報酬の削減をされ財政改革に率先して協力いただいております。

条例の制定について直接請求がなされ、住民の方々が財政状況に関心を持っていたことは、大変うれしく思います。しかし議員報酬を日額で支払う規定ですが、地方自治体にとって議会は最

終的な意思決定機関であり、住民の意思を町政に反映する民主主義の本体をなすものです。

議会と執行機関が切磋琢磨するという二元代表制を前提とする限り、議員の報酬を日当制にすることは議会活動に様々な支障を及ぼす懸念もあります。また議員の活動は各種の審議会委員等とは異なり調査、立案、情報収集、議案審議、事務調査等、日当制でできる範囲を超えた活動をしなければならぬと思えます。

厳しい財政の状況下で町民の期待と行政との調整は大変苦労があると思えます。したがって議会本来の機能を十分発揮するためにも従来どおり月額支給が妥当と考えます。

代表者陳述要旨

私達財政を考える会は財政の歳出削減を行い、財政の健全化を図る事が急務で、総人件費改革が財政改革の要である。

竹内町長は町民が財政



に関心を持っていただいていることは大変うれしいと有志の活動を評価された。しかし、町財政の危機を考えると嬉しいと言った表現ではすまされません。

町長は、議会は最終的な意思決定機関であり住民の意思を町政に反映する民主主義の本体をなすものであり、日当制にすると議会活動に様々な支障を及ぼす懸念もあると意見を述べられたが、そ

の論点が理解できません。月額では調査立案が想定出来ない、金額の多少で議会活動が左右されるのか、又奉仕の精神こそが議員のもつべき倫理であり本懐と思えます。

日当制の基本的な考え方は
 ・町の財政事情を最重要とする(夕張市を参考)
 ・合併しない単町志向について(矢祭町を参考)
 ・議員の公務と私的活動の区分の判定

議員は行政の監視役であり、赤字の原因を究明し過去にさかのぼって原因を明確に示してほしい。福祉予算の削減や補助金の廃止、公共料金の引上げなどを行っているが、議員特別職の報酬削減こそが歳出額の圧縮に必要です。

討論要約

議員は審議会議員と異なり、二元代表制の一翼を担う機関で調査、企画立案、情報収集、議案調査、事務調査等、日当制が想定する出席を越えた活動もしている。日当制にし議員活動を会議出席に限定すれば討議の前提となる調査活動を軽視する事になる。

日当制では限られた人しか議員になれない。特に厳しい社会状況の中で会社勤めしながら議員活動を認められる会社はない。そうした事から若者が議会に出ることは困難である。議員は1日24時間365日町民の幸せのために一生懸命議会活動を行なっている。又厳しい財政状況を鑑み、議員報酬も県下二番目に低い額で議員自ら努力をしている。公債費が多いのは住民の生活環境整備、農業の基本であるほ場整備等の公共投資であります。

陳情書審査

厳しい財政状況であり、住民の要望、期待も多様であり、議員として調査立案、情報収集、議案審議等行い、住民福祉の向上と地域の活性化を考察する活動は、日当だけの範囲を遙かに超えている。

首長、議員の報酬は住民の奉仕者として365日が議会活動であり本来の報酬の性格は「年俸制」であり責任給と考える。支給方法が職員に準じて月額で支払われているだけですが、議会が持つ「大使命」「政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」を完全に達成できるような懸命に日々努力する事が議員の職責であり、日当を頂いてその日だけ責任を負えばいいと云う、日当制では町民の負託に応えられない。抛って本件は不採択と致します。

ひとこと



袋原 清水 知子

心と身体健康づくり

平成十六年に町の福祉保健課の方で、健康づくり推進活性事業の取り組みが行われ、袋原集落では、「銭太鼓」と言う声が上がリ、それに決めました。

銭太鼓を以前やっておられた他集落の方に数日間、指導していただき、実際やってみるものの、なかなか様になり

ません。銭太鼓が手から離れて飛んでしまったり、「この動作はどうだったかいなア」ああでも無い、こうでも無いと言ひ合い乍らも、一番若手の人をリーダーとして、月一回程度で練習を続け、最近では、集落の祭りで披露する程度になりました。(あまり自信ないですヨ) 五十代、八十代、男性一名、女性七名のメンバーで、年齢の幅も広いのですが、銭太鼓の時ばかりは年齢差なんて関係ありません。五十代が、八十代の方に負けていますヨ。集落内の奉仕活動と併せて、次第に老化して行く身体に叱咤激励、良い汗を流しています。

とかく農家の方は身体を惜しまず働く人が多いと思いますが、時々好きな趣味に没頭したり、軽い体操を続ける等、自分なりの工夫で、多少なりとも心身の健康保持につながるのではないのでしょうか？ 私達の銭太鼓も心身の健康の為に老若男女を問わず、袋原集落で、ずっと引き継がれたらと思う、今日この頃です。



洲河崎 佐々木 満

温故知新

先日、江府町内に点在するお堂巡りをしました。どこの集落でも、お堂の仏様や神様を大切に祭られていました。そして、年一回は集落の人たちが皆でお参りした後、宮ごもりや堂ごもりをされるとのことでした。医学や科学が発達していない時代には、誰かが病気だといえば神様に平癒を願ひ、米がたくさんとれますように、と言つては神様に祈つた。集落のお堂や祠はその祈願の場所だった。お堂や祠は、もうひとつ大切なこと

を村の人たちに与えてくれました。常日ごろは疎遠な人でも、この日ばかりは利害や主義、主張を超えて、いっしょに御馳走を食べながら談笑する。隣り近所の人たちが平和に暮らしていくために大切な「人の和」がいたただけるのは大変な御利益といえます。昔からの習慣には、このような先祖の知恵が残されています。

祭りの日が忘れられるだけでなく、神様や仏様が祭られていることすら忘れられようとしている今日、マンシヨンの壁ひとつ隔てた「隣は何をする人ぞ」、という都会的な雰囲気は、自然豊かな江府町に持ち込みたくないものです。



あとがき

▼平成20年度がスタートしました。新たな夢や目標に向う人も多いでしょう。

▼小学校は来春の統合もあり既存の学校生活も最終となります。

▼議員報酬を月額制から「日当制」に変更する条例制定を求める町民有志の直接請求がありました。

▼議会の使命と議員の職責を認識し今後とも行動します。

▼議会だより編集委員は本年度も住民皆様に親しみと関心を持って頂ける紙面づくりに努力しますので、ご意見などお寄せ頂きますようお願いいたします。

日野尾 優

議会広報調査特別委員会

委員長 越峠恵美子

副委員長 川上 富夫

委員 上原 二郎

委員 日野尾 優

委員 池田 成弘